

給食のアレルギー対応について

医師の診断書（生活管理指導票）の提出により、アレルギー除去食の対応を行います

月末

- ★栄養士は「アレルギー対応献立表」を作成し、養護教諭と確認
管理職、担任、専科に回覧する
連絡表を作成し、保護者へ配布する

- ★：栄養士
- ：担任
- ：専科
- ◆：児童

当日朝

- ★栄養士は除去食対応児童を確認し、担任へ「除去食カード」を手渡す
調理員と当日の確認をする

給食室

- 除去食を作り、お盆(黄色)に1人分をセットし、ワゴンの上に乗せる
除去食品のあるお皿には専用の蓋をする
- ★栄養士が確認する

給食時間

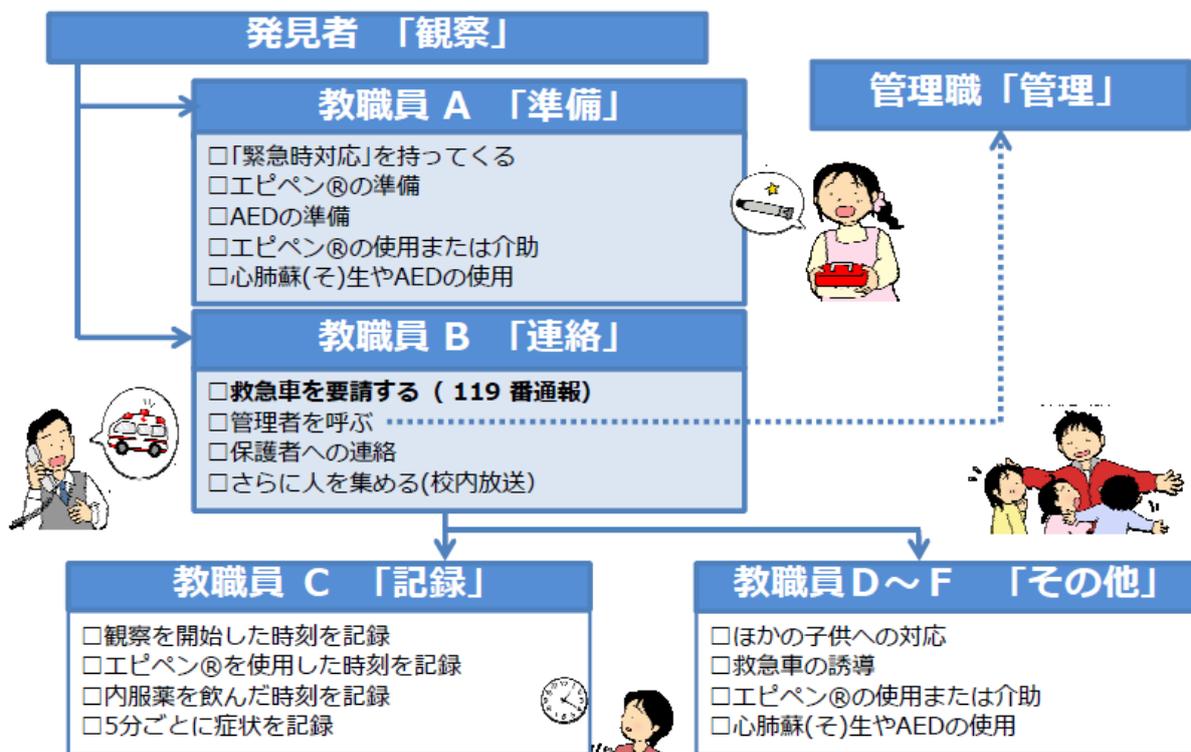
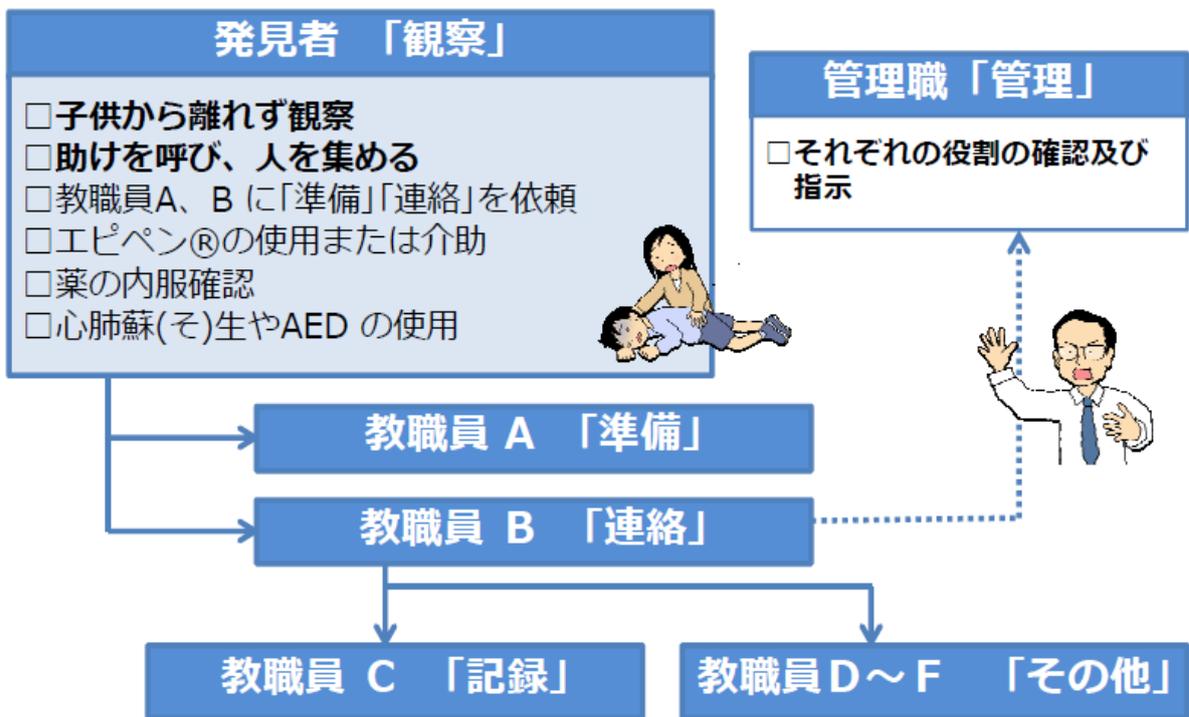
- 担任 除去食カードを黒板に貼っておく
ワゴンにある除去食を確認し、児童へ渡す
※児童と中身を確認し、再度ラップをかける
- ★栄養士 教室巡回時に、除去食の確認
- 専科 教室へ行き、除去食を確認後、見回り札を除去食カードに貼る
- ◆ 児童 除去食の確認を先生と行うまでは食べない
その日は、おかわりなし（すべての料理）
ラップ・フタは「いただきます」をするまで、外さない
※除去食のある日の給食当番：【準備】料理の配膳はしない（お盆の渡し、牛乳配りは可）
【片づけ】当番の片づけはしない（自分の片づけのみ）

給食後

- 担任は「除去食カード」を給食のワゴンに乗せて給食室へ戻す

食物アレルギー緊急時対応マニュアル

学校内での役割分担



文部科学省・(公財)日本学校保健会
東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

※教職員A「準備」は、養護教諭、栄養士を呼び
不在の場合は、「アレルギー個別対応ファイル」を持参

緊急時の対応

- 発見者 = 観察者
- ・ 子供から離れず観察
 - ・ 助けを呼ぶ
 - ・ 緊急性の判断
 - ・ エピペン®、AEDを指示

アレルギー症状がある（食物の関与が疑われる）

原因食物を食べた（可能性を含む）

原因食物に触れた（可能性を含む）

呼びかけに反応がなく、呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う

<緊急性が高いアレルギー症状>

全身の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい
- 唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- のどや胸が締め付けられる
 - 声がかすれる
 - 犬が吠えるようなせき
 - 息がしにくい
 - 持続する強いせき込み
 - ぜーぜーする呼吸
- （ぜん息発作と区別できない場合を含む）

消化器の症状

- 我慢できない腹痛
- 繰り返し吐き続ける



一つでもあれば

緊急性が高いアレルギー症状があるか、5分以内に判断

緊急性が高いアレルギー症状への対応

チームワークが大切

- ・ 救急車を要請（119番通報）
- ・ ただちにエピペン®を使用
- ・ 反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う ➡ AEDの使用
- ・ その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない！**

<安静を保つ体位>

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため、あお向けで足を15~30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しくあお向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし後によりかからせる

- ・ その場で救急隊を待つ

エピペン®の使い方

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開けエピペン®を取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを下に向け、利き手で持つ

“グー”で握る！

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップをはずす

④ 太ももの外側に注射する



太ももの外側に、エピペン®の先端(オレンジ色の部分)を軽くあて、“カチッ”と音がするまで強く押しあて、そのまま五つ数える
**注射した後すぐに抜かない！
押しつけたまま五つ数える！**

⑤ 確認する



エピペン®を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する

**伸びていない場合は
「④に戻る」**

オレンジ色のニードルカバーの先端は、注射針が出てくる場所です。絶対に指や手等で触れたり、押しつけないでください。

文部科学省・(公財)日本学校保健会
東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

エピペン®の使い方

介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝をしっかり押さえ、動かないように固定する

服の上からも注射できますが、注射部位を触って、縫い目がないこと、ポケットの中に何も入っていないことを確認しましょう。

注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももを三等分したかつ真ん中(A)よりやや外側に注射する

あお向けの場合

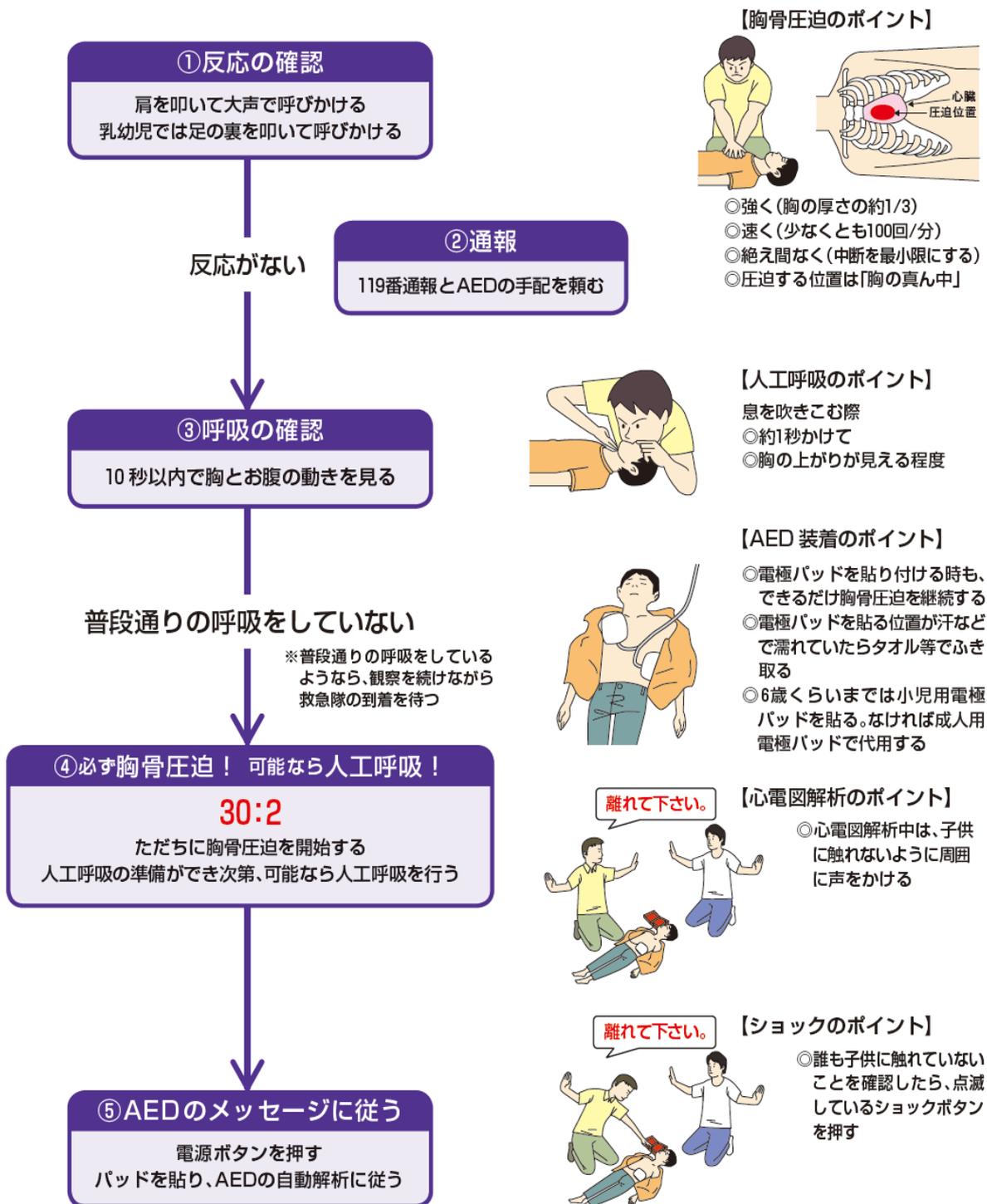


座位の場合



心肺蘇生法とAEDの手順

- ◆強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！
- ◆救急隊に引き継ぐまで、または子供に普段通りの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける



救急要請（119番通報）のポイント

<p>① 救急であることを伝える</p> <p>119番、 火事ですか？ 救急ですか？</p> <p>救急です。</p>	<p>③ 「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」を分かる範囲で伝える</p> <p>どうしましたか？</p> <p>3年生の男児が 給食を食べた後、 気持ちが悪いと 言っています。</p> <p>食物アレルギー既往の有無を伝える</p>
<p>② 救急車にきてほしい住所を伝える</p> <p>住所はどこですか？</p> <p>〇〇町〇〇番地 〇〇学校です。</p>	<p>④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える</p> <p>あなたの名前と 連絡先を教えてください。</p> <p>私の名前は 〇〇〇〇です。 電話番号は・・・</p> <p>119番通報後も 連絡可能な電話番号を伝える</p>

※ 救急隊から、その後の状態確認などのため、電話がかかってくることもある

- ・通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・必要に応じて、救急隊が到着するまでの応急手当の方法を聞く

文部科学省・(公財)日本学校保健会

東京都・「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改定... 引田

※アレルギー関連個人資料

「保健資料」

「アレルギー個別対応ファイル（学校生活管理指導票、食物アレルギー対応個人票など）」

緊急性が低い場合（養護教諭、栄養士 不在の対応方法）

- ・管理職へ報告
- ・症状を確認し、保護者へ連絡
 - 相談内容：今朝（登校前）の様子
 - 学校で預かっている内服薬の投与
 - 学校へ迎えに来れるか
- ・「アレルギー個別対応ファイル」で症状が出た時の対応方法を確認する
- ・必要があれば、かかりつけの病院へ連絡し、相談する
- ・症状が軽い場合でも、時間の経過で悪化する可能性があるため、症状の経過を観察する